

2018年度 学習時間・学習経験に関するアンケート調査（1・4年生）分析結果報告

【回答者数内訳】

学年			学科														合計	対象者	回答率
			日文	歴文	英コミ	国際	ビジ	会フ	心理	福祉	現代	初教	環境	健康	管理	安全			
1	人数	64	96	202	39	34	61	72	82	76	98	79	74	75	33	1085	1629	66.6%	
	%	5.9%	8.8%	18.6%	3.6%	3.1%	5.6%	6.6%	7.6%	7.0%	9.0%	7.3%	6.8%	6.9%	3.0%	100.0%			
4	人数	72	54	48	9	20	0	31	24	19	80	10	4	68	0	439	1419	30.9%	
	%	16.4%	12.3%	10.9%	2.1%	4.6%	0.0%	7.1%	5.5%	4.3%	18.2%	2.3%	0.9%	15.5%	0.0%	100.0%			
合計	人数	136	150	250	48	54	61	103	106	95	178	89	78	143	33	1524			
	%	8.9%	9.8%	16.4%	3.1%	3.5%	4.0%	6.8%	7.0%	6.2%	11.7%	5.8%	5.1%	9.4%	2.2%	100.0%			

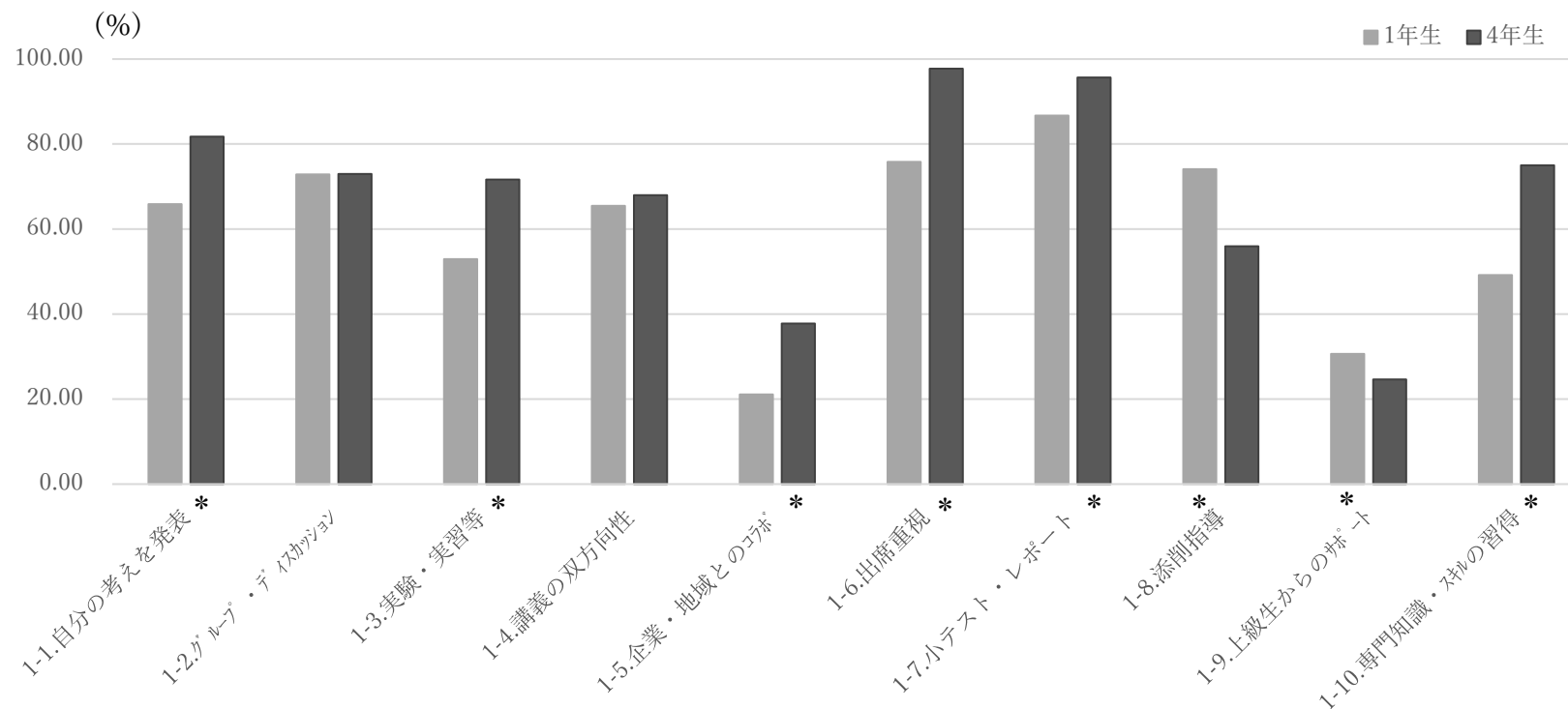
【回答者の本学志望順位】

学年			志望順位				合計
			第一志望	第2志望	第3志望	第4志望以降	
1	人数	495	145	119	314	1073	
	%	46.1%	13.5%	11.1%	29.3%	100.0%	
4	人数	193	82	63	97	435	
	%	44.4%	18.9%	14.5%	22.3%	100.0%	
合計	人数	688	227	182	411	1508	
	%	45.6%	15.1%	12.1%	27.3%	100.0%	

【授業における経験の頻度】

‘よくあった’と‘時々あった’の回答を「あった」に、‘あまりなかった’と‘なかった’の回答を「なかった」に分類し、「あった」と回答した者の割合を示す。

*は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目。

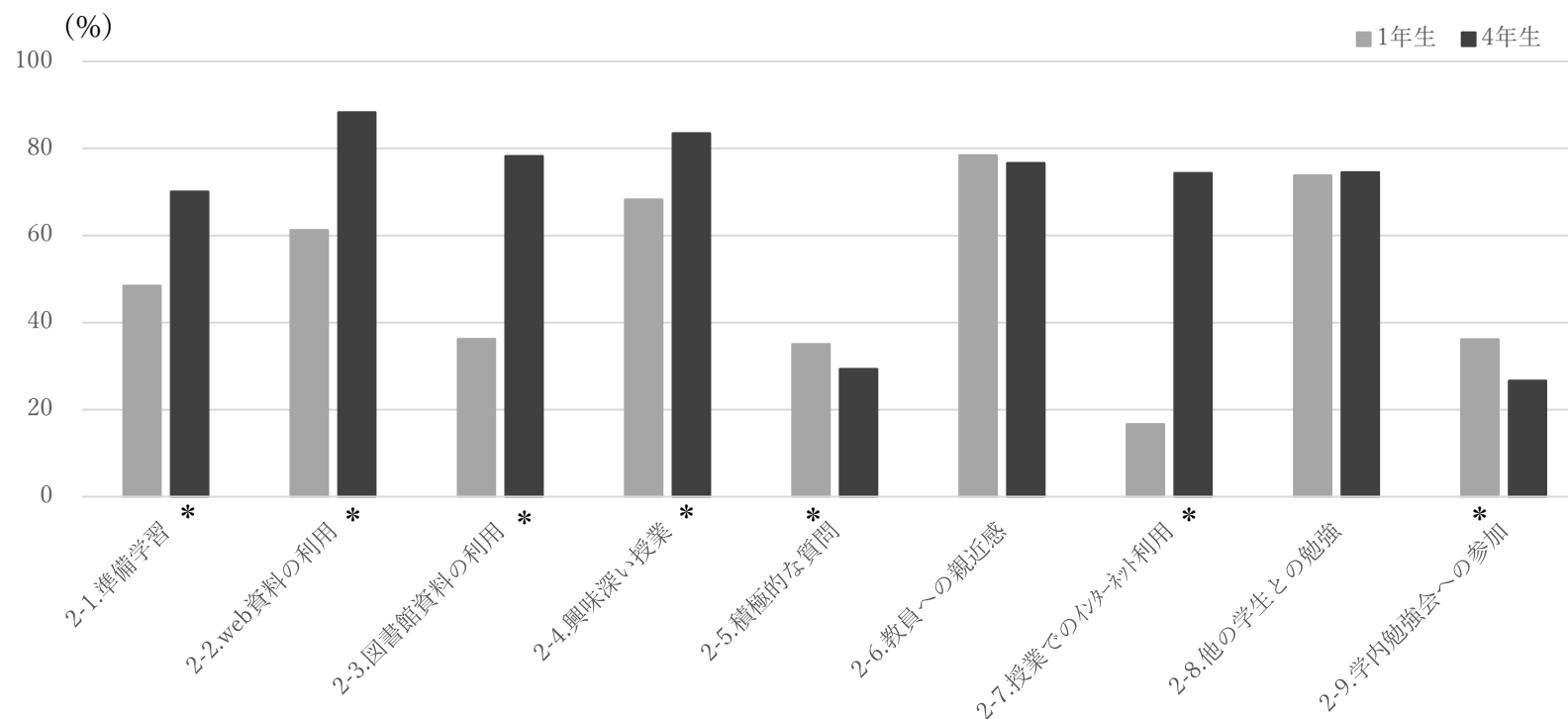


>> 4年生では7割以上の者が、大学の授業において「1-1 自分の考えを発表」し、「1-2 グループ・ディスカッション」に参加し、また「1-3 実験・実習」や「1-7 小テストやレポート」を経験しながら、「1-10 専門的な知識やスキルを習得した」と回答した。これらの項目は概して、入学前までに経験したと回答した1年生の割合よりも高かった。また、4割近い4年生が「1-5 企業・地域とのコラボレーション」を経験しており、これは1年生の経験者の割合よりはるかに高い。一方、入学前までに「1-8 添削指導」や「1-9 上級生からのサポート」を経験した1年生の割合は、それらを大学の授業で経験した4年生よりも多かった。なお、これらの結果は昨年度のアンケートの結果とほぼ一致した。

【授業及び授業外での取り組みの経験の頻度】

‘よくあった’と‘時々あった’の回答を「あった」に、‘あまりなかった’と‘なかった’の回答を「なかった」に分類し、「あった」と回答した者の割合を示す。

*は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目。



>> 4年生では、7割以上の者が「2-7 授業でのインターネット利用」を経験するとともに、「2-2 web 資料」や「2-3 図書館資料」を利用して課題等に取り組み、内容への「2-4 興味」を深めたと回答した。いずれの項目も、入学前までに経験したと回答した1年生の割合よりも高かった。一方、大学で「2-5 積極的な質問」や「2-9 学内勉強会へ参加」した4年生の割合は3割弱と低く、入学前にそれらを経験した1年生の割合より少ない。なお、昨年アンケートに比べて「2-6 教員への親近感」を感じたとする4年生の割合が増加し、高校の教員に親近感を感じたとする1年生の割合と差がなくなった。

【留学経験】 *は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目

		2-10.留学経験			合計	
		留学経験なし*	半年未満*	半年以上*		
学年	1	人数	815	251	16	1082
		%	75.3%	23.2%	1.5%	100.0%
	4	人数	244	140	54	438
		%	55.7%	32.0%	12.3%	100.0%
合計		人数	1059	391	70	1520
		%	69.7%	25.7%	4.6%	100.0%

>> 1年生の約4分の1が高校までに留学を経験しているが、そのほとんどは半年未満の短い留学である。一方、4年生では半数近くの学生が留学を経験し、半年以上の長期間の留学経験者も1割以上いた。長期留学経験者の多くは国際学部の学生と推測されるが、それ以外の学部の学生も3割程度の学生が留学を経験していることがわかる。この結果は昨年アンケートと同様であった。

【海外旅行経験】 *は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目

		2-11.海外旅行経験			合計	
		0回*	1回	2回以上*		
学年	1	人数	431	258	390	1079
		%	39.9%	23.9%	36.1%	100.0%
	4	人数	145	100	187	432
		%	33.6%	23.1%	43.3%	100.0%
合計		人数	576	358	577	1511
		%	38.1%	23.7%	38.2%	100.0%

>> 1年生に比べ4年生に海外旅行経験者が多く、4年生では半数近くが2回以上の海外旅行を経験している。昨年に比べると、海外旅行の経験のある1年生の割合がやや増加した。

【普段の（期末試験時は除く）授業外学習時間】

*は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目

		3. 1日平均（普段）			合計	
		1時間未満*	1時間以上 3時間未満*	3時間以上		
学年	1	人数	674	363	46	1083
		%	62.2%	33.5%	4.2%	100.0%
	4	人数	303	112	24	439
		%	69.0%	25.5%	5.5%	100.0%
合計		人数	977	475	70	1522
		%	64.2%	31.2%	4.6%	100.0%

>> 普段1日に1時間以上学習する学生は全体の35%で、そのうち5%が3時間以上学習している。学習時間は4年生より1年生のほうが長い傾向があった。この傾向は、昨年のアンケートの結果とほぼ一致するが、4年生で3時間以上学習する者の割合が若干減った。

【期末試験時の授業外学習時間】

*は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目

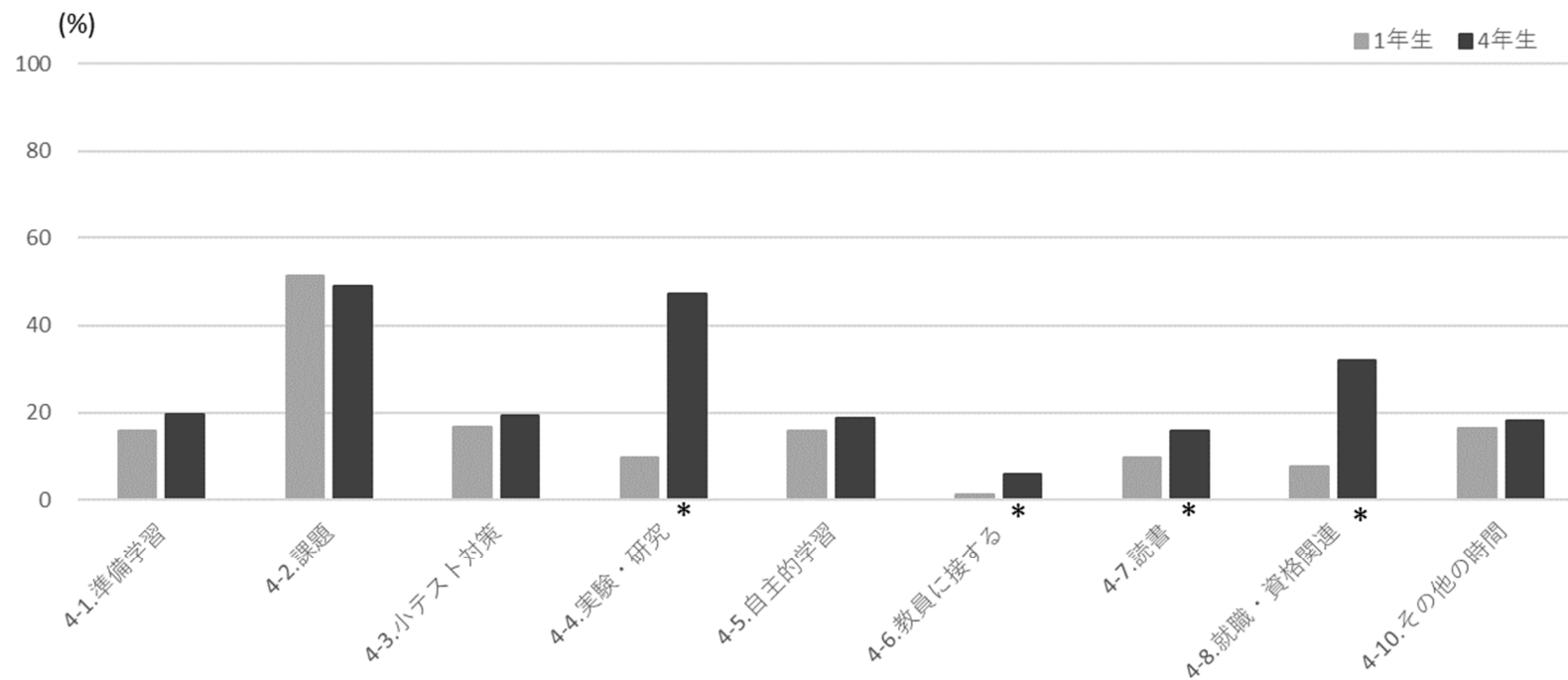
		5. 1日平均（期末試験時）			合計	
		1時間未満*	1時間以上 3時間未満*	3時間以上		
学年	1	人数	336	508	239	1083
		%	31.0%	46.9%	22.1%	100.0%
	4	人数	177	181	81	439
		%	40.3%	41.2%	18.5%	100.0%
合計		人数	513	689	320	1522
		%	33.7%	45.3%	21.0%	100.0%

>> 期末試験時の学習時間は普段に比べ長く、1日1時間以上学習する者が1年生では7割近く、また4年生でも6割近くいる。昨年と比較すると、1時間未満の1年生の割合が1割近く増えた。

【普段の授業外学習時間の内訳】

1日の平均学習時間を「1時間以上」と回答した者の割合を示す。

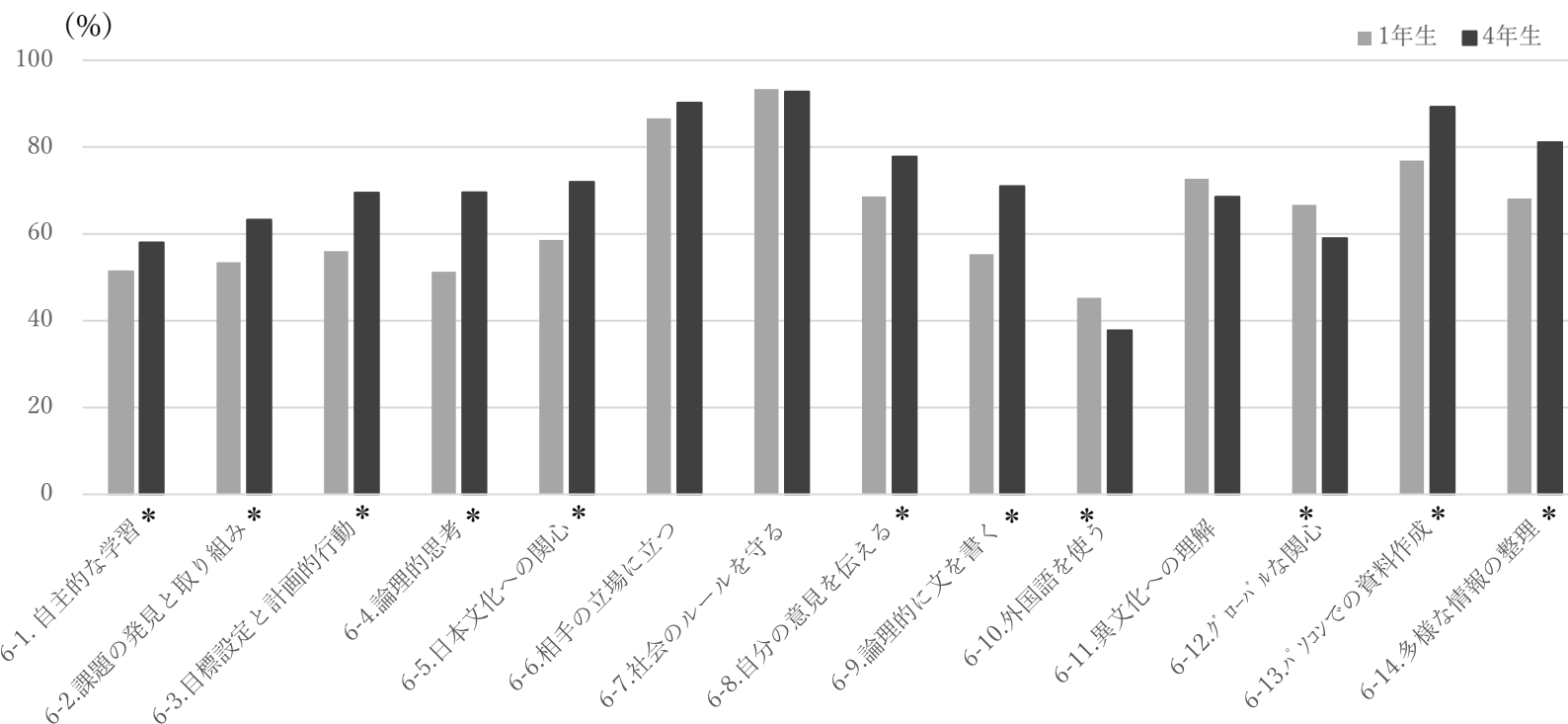
*は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目。



>> 1年生の授業外での学習は主に「4-2 課題」の実施であるのに対し、4年生では「4-2 課題」に加え「4-4 実験や研究」「4-8 就職や資格関連」の勉強に費やされていることが示された。昨年とほぼ同じ傾向であったが、「4-2 課題」や「4-7 読書」をする4年生の割合が増えた。

【現在身についていると思うか】

‘そう思う’と‘ややそう思う’の回答を「そう思う」に、‘あまりそう思わない’と‘思わない’の回答を「そう思わない」に分類し、「そう思う」と回答した者の割合を示す。*は1年生と4年生の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目。

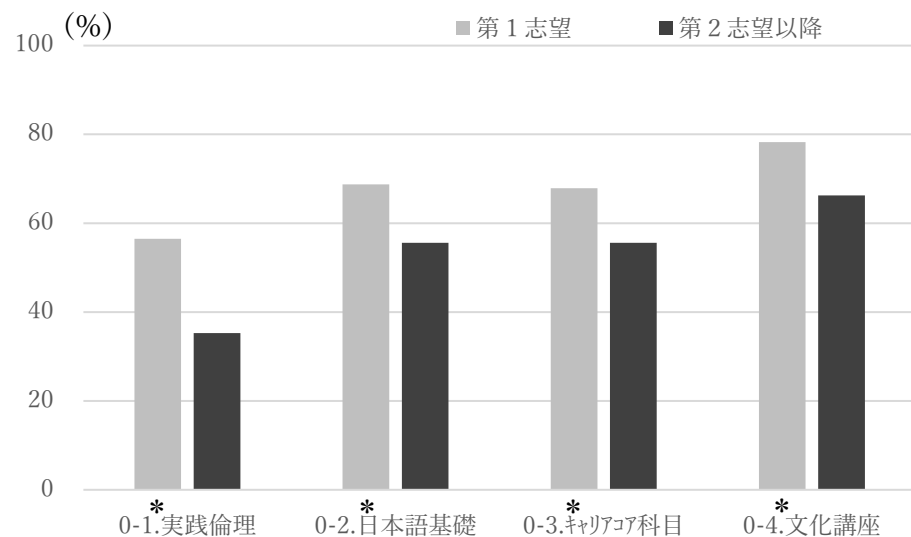


>> 4年生では「6-13 パソコンでの資料作成」「6-14 多様な情報の整理」といった情報リテラシーに関わる力について8割以上の者が身についていると回答し、また、「6-4 論理的な思考力」「6-9 論理的に文を書く力」「6-8 自分の意見を伝える力」などの社会人基礎力についても7割以上の者が身についていると回答した。いずれの項目も1年生で身についているとした者の割合より高かった。一方、「6-1 自主的な学習」「6-2 課題の発見と取り組み」「6-3 目標を設定し、計画的に行動する力」といった主体性に関わる項目は身についているとした者が7割に届かず、1年生よりは割合は高くなっているが、まだ弱いと感じている者が少なくないことがわかる。また、「6-10 外国語を使う力」や「6-12 グローバルな関心」が身についていると考えている者の割合は、4年生より1年生の方が高い結果となった。これらは昨年アンケートの結果とほぼ同様であった。

【本学独自の教育課程についての満足度と志望順位との関連（4年生のみ）】

‘満足’と‘やや満足’の回答を「満足」に、‘やや不満’と‘不満’の回答を「不満」に分類し、「満足」と回答した者の割合を示す。

*は第一志望で入学した者と第二志望以降で入学した者の回答に5%水準で統計学的に有意な差がみられた項目。



>> 本学独自の教育課程の中で、もっとも満足度が高いのが「文化講座」で7割の者が満足していた。一方、「日本語基礎」「キャリアコア科目」の満足率は約6割、「実践倫理」の満足率は約5割で、いずれも第1志望で入学した学生は第2志望以下で入学した学生に比べて満足率が高かった。